

FRCの概要

・廃炉関連の基盤研究を取り扱う『福島リサーチカンファレンス(FRC)』を福島県で継続的に開催し、廃炉研究関連分野における最高ステイタスの会議を開催します。

福島第一原子力発電所(1F)の事故は、1-3号機の3つの原子炉がそれぞれに異なった経路をたどって炉心崩壊から圧力容器損傷にいたるという、過去に例を見ない過酷なものであり、その廃炉は長期にわたる難事業となることが予想されます。

この困難な廃炉作業のリスクを適切に管理するとともに、先端的なツール(ソフトウェアや装置)をタイムリーに現場に届けるために、国内外の様々な分野の科学者、技術者の協力が必要です。そのために、CLADSは内外の専門家の助力を得て、廃炉に必要な特定のテーマを選定して、年に5-6回の国際カンファレンスを開催します。

研究分野の構成例

①核種分析、②過酷事故進展解析、③被ばく防護と除染、④遠隔技術、⑤プロジェクト・マネージメント、⑥コンクリート構造物の保全、⑦腐食予測と防食、⑧検査技術、⑨補修技術、⑩燃料デブリの物性と処理、⑪放射性廃棄物の処分、⑫臨界管理

当面の開催方針

・福島部門の国際セミナーをFRCとして、廃炉基盤研究プラットフォーム事業の中に位置づけています。

・文科省人材育成公募の枠内外の大学、高専、学協会のトピカルなワークショップ等も、提案を受ければFRCの一つとして位置づけ、CLADSとしてプラットフォーム運営会議参加拠点の協力を得つつ企画・運営を支援することも検討しています。

開催日	開催テーマ	開催場所	特記事項
2019.5.24-27	廃炉研究の進捗に係る分野横断の国際ワークショップ (International Topical Workshop on Fukushima Decommissioning Research)	J-village	日本原子力学会と日本機械学会の共催: 炉内D
2019.7.10-12	シビアアクシデント解析と1F廃炉のための材料科学ワークショップ (Material Science for Severe Accident and Fukushima-Daiichi Decommissioning Workshop)	檜葉、J-village、 いわき市内	OECD/NEAのTCOFFプロジェクトにおける活動の一環: 炉内D
2019.10.17-18	原子力水素安全に関するワークショップ	富岡(蓬人館)	デブリD&廃棄物D
2019.10.23-24	原子力施設における遠隔技術に関する研究カンファレンス	檜葉 (檜葉遠隔技術開発センター)	檜葉C&遠隔D
2019.12.9-11	福島第一原子力発電所の腐食に関する国際会議	富岡(学びの森)	炉内D
(未定)	損傷構造材の健全性評価手法	富岡	福島高専主催